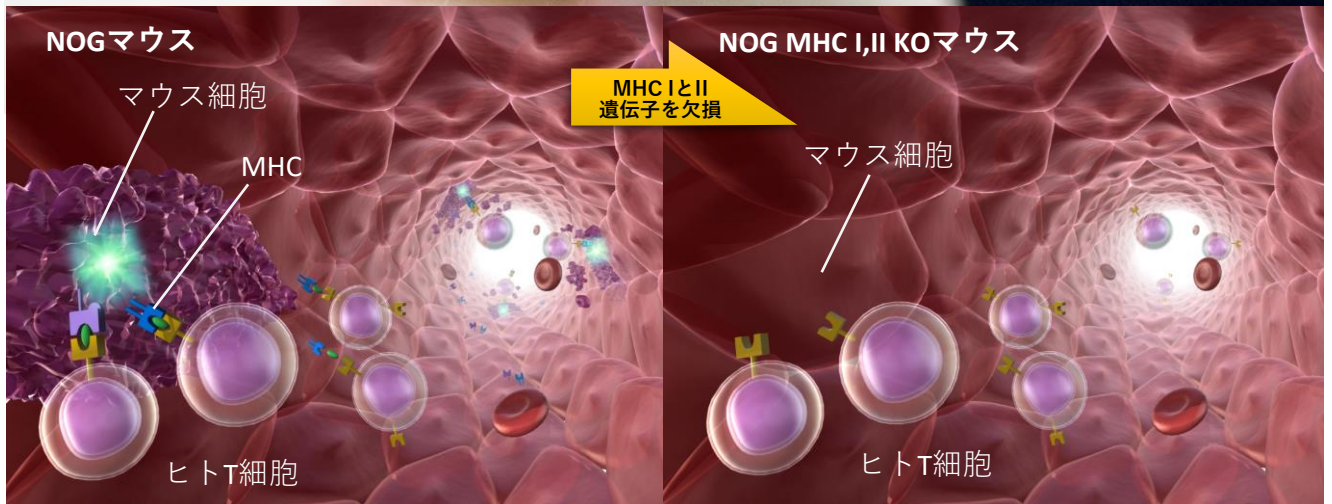


## hPBMCでのヒト免疫系構築に最適な NOG MHC I,II KO マウス



GVHD発症

MHC欠失によりGVHDが回避される



## NOG MHC I,II KO マウス

ヒト細胞、ヒト組織を *in vivo* で解析できるヒト化マウスは、医学・創薬の研究として、新薬の前臨床試験や、ヒト細胞の分化、機能解析等の基礎研究に有用な実験動物です。

本系統は、ヒト細胞に対して高い生着性を示す重度免疫不全のNOGマウスを基に、ヒトT細胞が認識するマウス MHCのClass I 分子の $\beta 2m$  および Class II 分子の  $Ia\beta$  を欠損させたモデルです。

### NOG-MHC I,II KO マウスの利点

重度の免疫不全に加え、hPBMC移植後のXenogenicなGraft Versus Host Disease(GVHD)が緩和され、長期の試験が可能になりました。今までのNOGマウスではヒトPBMC移植後1ヶ月程度でGVHD発症していましたが、より長く3カ月程度の観察が可能です。

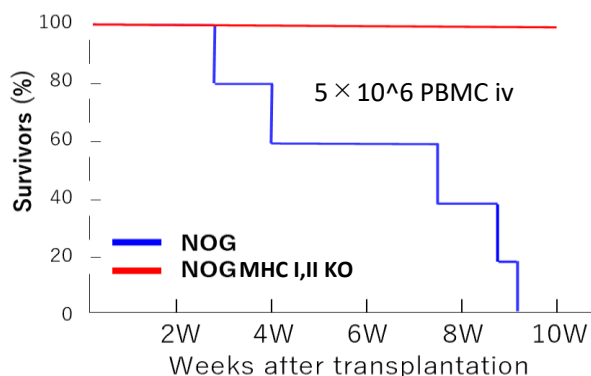


## 主な研究用途

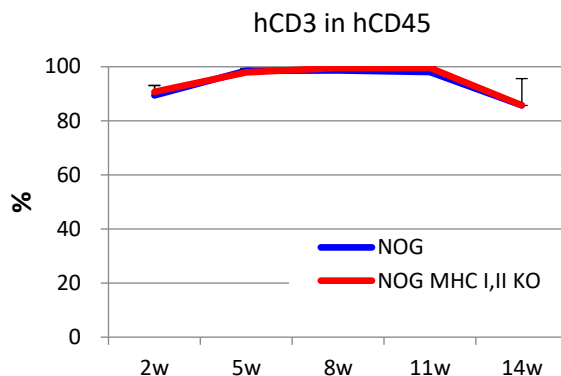
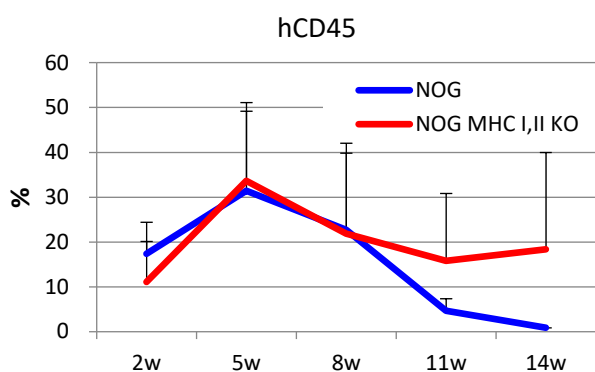
- 免疫チェックポイント阻害剤の研究
- PDXモデルの樹立

論文紹介 Ashizawa T *et al.*, Clin Cancer Res. 2017 23(1):149-158  
 Akiyama Y *et al.*, Immunol Lett. 2017 190:20-25  
 Ashizawa T *et al.*, Immunol Lett. 2019 216:43-50

### ● hPBMC移植後の生存率

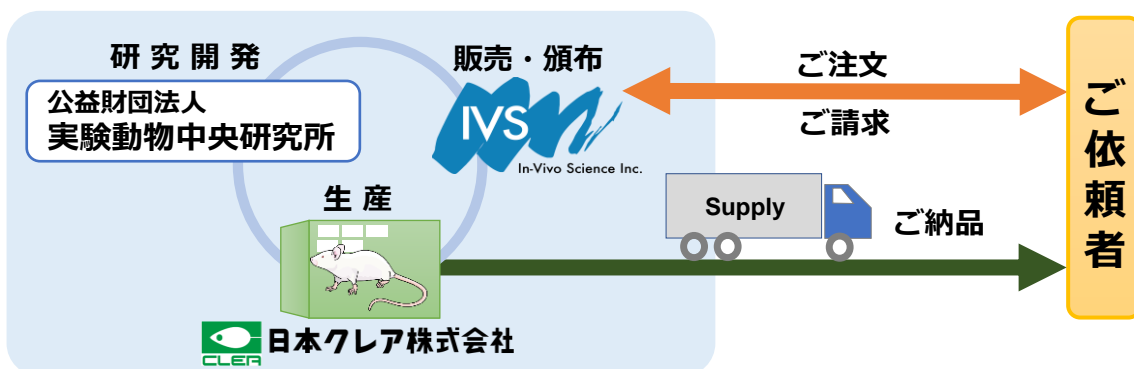


### ● hPBMC移植後2W-14Wにおける末梢血中のヒトCD45+細胞およびCD3+細胞のキメラ率



## NOG-MHC I,II KO マウスの生産体制

NOGマウスよりもさらに重度な免疫不全のマウスのため、実中研で確立した飼育技術を移管した日本クレア株式会社にて生産されています。



※ hPBMC移植後の納品や受託試験についても弊社にご相談ください

### お問い合わせ

TEL : 044-201-8518

FAX : 044-201-8519

WEB : [www://invivoscience.com](http://www://invivoscience.com)

e-mail : [sales@invivoscience.com](mailto:sales@invivoscience.com)

インビボサイエンス株式会社

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番12